

おつとめのお経 一語一話

第十四回

お経の中には、たくさんの言葉が出てきます。
このコーナーでは、毎回ひとつの言葉にスポットを当てて解説いたします。

「末法」

今 回は末法についてです。末法のイメージ
という「世紀末」をイメージされるので
はないでしょうか。簡単に末法の説明をいたし
ますと、お釈迦さまがお亡くなりになられてか
ら二千年後が末法にあたりとされます。

末 法に至るまでの二千年の間には、正法の
時代・像法の時代がありました。正しい

教えを聞いて修行したり、禪定に入って悟る人
がいる時代が正法の時代です。



続いて像法の時代とは、仏教がインドから中
国に渡って多くの経典が翻訳されたり、経典を
読んで修行されたり、日本に渡ってからは多く
のお寺や塔が建てられる時期のことを像法の時
代といえます。

そして、正法の時代も像法の時代も過ぎ去り、
戦乱が起こり、お釈迦さまの正しい教えが消え
去ってしまう時代が末法の時代です。一説には、
一〇五二年が末法元年(平安時代の末期で武士
が台頭してきた時期)といわれておりますので、
現代は末法になってからさらに千年ちかく経過
しています。

人間は争いをやめず果てに世界大戦もしてし
まい、ただけひどい目にあっている人も人類は、
国家、民族、主義等の相違によりいまだに争い
を続けています。

上 行菩薩という菩薩さまがいらつしやいま
す。法華経に説かれている中で、お釈迦

さまに法華経を弘めなさいと後を託された菩薩
さまです。そして、日蓮大聖人は末法の時代に、
数々の法難に遭われ、ご自身の宗教体験と経文
との符号が明らかになったことにより、大聖人
は上行菩薩の自覚をもって命をかけて法華経と
お題目の教えを弘められたのです。
ですので、法華経とお題目を弘められた大聖
人のことを「末法弘通の大導師 宗祖日蓮大聖
人」と敬ってお呼びいたしております。
大聖人は、天災や疫病や戦争、またこの欲に
まみれた「五濁」といわれる心の弱りがちな不安
定な現代に、私たちに仏様の縁、お題目の縁を
結んでくださり、私たちの心を奮い立たせ力付
けてくださる尊いお方です。
その大聖人から、受け継いできたお題目を、
素直な気持ちでお唱えして、お題目とともにい
きいきと日々を歩んでいただけたらと思います。

(成洋)

*YouTube 顕本法華宗 総本山妙満寺チャンネルにて、「末法」と「五濁」の
説明の法話が閲覧できますので、下記QRコードよりご覧になってください。



檀信徒のひろば

～私たちの菩提寺～

このコーナーでは、各寺院で行っている特色のある法要や、催し物、檀信徒の旅行会や、青年会等の取り組みなどを紹介します。



本堂での記念コンサート

当山は、上総国の中

心部、千葉県市原市
海士有木に位置し、天
文十三年（1544年）

安立院日安上人によって創建されました。寺域一帯は、戦国時代の蟻木城跡であり「土塁」も散見されています。また、「石造十三重塔」(市指定有形文化財)があり多数拝観に來られます。そのため、毎月役員による草刈や竹林整備等を実施し、清々しいお寺を心掛けています。



石造十三重塔

活動としては、平成17年に、仕掛けりのお寺である会津・別格山妙法寺様などを檀家一同で参拝した感動は忘れられませんが、

去る4月3日には、「宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年記念コンサート」を開催し、YOO-YOO-JU（京都市交響楽団）による素晴らしい演奏を拝聴いたしました。僧侶を含め約60名が参加され成功裏の中、終了いたしました。これも、妙満寺から來られた土持悠孝上人をお迎えした縁のことであります。千葉にお越しの際は、ぜひ、小湊鐵道に揺られ泰安寺へ参拝にいらしてください。

第三教区

千葉縣市原市
泰安寺
(住職 土持悠孝 師)
総代 村越 宏氏



ひとくち法話

「秋のお彼岸を迎えて」

第五教区
千葉東金市
法導寺
河野巧禅



秋のお彼岸を迎える季節になりました。全国のお寺では彼岸法要や、各家へのお参りをいたします。では「彼岸」という言葉の意味は何かと申しますと、「迷いのない悟りの境地」を表します。それに対し、私たちの

いる場所は「此岸」(迷いの世界)といえます。ですから、お彼岸とは、此岸から彼岸へ少しでも近づけるよう修行する期間なのですが、修行といっても何をすればいいのかと思いますよね。そこで示されたのが、六波羅蜜という修行方法です。六波羅蜜は布施(私心を捨てて見返りを求めず施す)・持戒(自ら戒めを持つ)・忍辱(苦しさや辛さを耐えて仕返しをしない)・精進(怠らず励むこと)・禅定(心を穏やかに保つ)・智慧(物事を見極め上手く処理する力)です。

この生活の中でも心がけ次第で実践できることもあります。例をあげてみますと、御先祖にお線香を捧げる、笑顔で挨拶をする、悲しんでる人を慰める、体に害するものを控える、機嫌が悪くても他人にあたらない、散財をしない、常に心を整え落ち着かせる、目先にとられず大きい視野で物事を観察するなどです。

このようなことを少しずつ積み重ねることが、彼岸への第一歩です。お彼岸の期間は、まずはお仏壇・お墓に手を合わせ、南無妙法蓮華経とお題目を心を込めてお唱えすることから始めましょう。

新型コロナウイルス感染症拡大等により、外出を控え、ご自宅でお過ごし読者も多いことと思いますが、この大切な時間を有意義に過ごしませんか。本コーナーでは、前号に続いて「自我偈」の写経を体験していただき、ご自身の「身と心」を清める楽しさを味わっていただければと思います。

写経作法の一例

- 手を洗い、口をすすいで身を清めましょう。
- 着座して(正座・椅子どちらでも結構です)、静かに目を閉じ、心を落ち着かせましょう。
- 合掌して、お題目を三回お唱えし、家族やご先祖に感謝の気持ちを持ちましょう。
- 写経は、ペン・鉛筆・筆ペン等何でも結構です。書きやすいもので丁寧に写しましょう。
- 写し終えたら、合掌して静かに目を閉じ、お題目を三回お唱えして終わりです。
- 写経の字に、上手下手は関係ありません。一文字一文字心を込めて丁寧に写すことが大切です。

出典

妙法蓮華經(法華經)如来寿量品第十六の偈文は、冒頭の文字をとって、「自我偈」あるいは内容から「久遠偈」と呼ばれます。すべての仏典の頂点に立つ法華經、その中で特に大事なお経が如来寿量品で、さらにその中でも一番の肝心が「自我偈」になります。この経文の底にこそ、末法の衆生が等しく救われる南無妙法蓮華經の法門が秘められていると日蓮大聖人は教えられています。

経文の意味

衆生既信伏 質直意柔軟
 一心欲見仏 不自惜身命



意味…人々は仏に信じ従って、素直で柔順な気持ちでひたすら仏の姿を拝みたい、と自分の命をも惜しまず願うのである。

解説文 顕本法華宗 おつめのお経の解説より

衆生既信伏 質直意柔軟
 一心欲見佛 不自惜身命
 衆生既信伏 質直意柔軟
 一心欲見佛 不自惜身命

書：秋葉敬真師（東京 法成寺住職。毎日書道展審査会員、書道誌三耀社副会長）

正式な写経をされたい方

法華經「自我偈」全文の写経をされたい方は、総本山妙満寺にお問い合わせください。

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町 91 番地

顕本法華宗 総本山 妙満寺

電話番号 075-791-7171

URL <https://myomanji.jp>



ぶらり 奇々を訪ねて

かつて好評をいただいた連載コーナーが新しくなりました。ご住職からの一言も紹介いたします。

第3教区

如意山 本行寺

千葉県千葉市中央区浜野町1252



開基 心了院日泰上人

創建 文明元年(1469年)

住職 第42世 朝倉俊泰師



お寺の見どころ

本行寺は、房総へ顕本法華宗の教えを弘めるために京都からこられた心了院日泰上人が創建された最初のお寺です。その後、現在の千葉県の中部地域を治めていた土気城主である酒井定隆公が日泰上人に帰依し、上総七里法華が実現されました。以来、浜野の地で七里法華根本寺として、釈尊と宗祖日蓮大聖人の正しい教えをお檀家皆様とともに受け継いでいます。

開創より約550年の間には、豊臣秀吉の関東征伐や、大東亜戦争における空襲により全山焼失等の被害にも遭いましたが、皆様の篤い信仰に支えられ復興を遂げております。

住職として心がけていること

境内には公園もあり、参拝者のみならず、お子さんやお年寄りの方々もたくさん訪れてくださいます。皆さんが、ときには仏さま前で襟を正したり、あるいは仏さまのおひざ元で心癒すことができるよう、地域の秩序や環境維持を心がけています。全国の顕本法華宗のお檀家の皆さん、お近くへお越しの際には是非ご参拝ください。



第7教区

勢立山 妙善寺

兵庫県姫路市五軒邸2-29



開基 蓮成院日善上人

創建 元和3年(1616年)

住職 第41世 田久保修心師



お寺の見どころ

昭和20年(1945年)姫路大空襲の中、市民の献身的な働きと知恵で守られた姫路城は、平和のシンボルとして今日も私たちを見守っています。

当山は、JR姫路駅より徒歩20分、世界遺産姫路城の真東に位置し、今を去る400余年前に蓮成院日善上人により創建されました。

立正大師諡号宣下の最大の功労者である、本多日生上人が得度をされた寺であり、歴代住職により長く法燈を伝持し、宗風を護持して今に至ります。

本堂前には大きな枝垂桜があり、丁度春のお彼岸に満開になりますので、お檀家さんも楽しみにお参りしていただいております。



住職として心がけていること

平成30年6月に晋山式を厳修しましたが、私はその時、心はいつも素直に、三宝様には一生を捧げる決意で臨みました。

まだまだ新米住職ですが、寺檀和合・寺門興隆につとめてまいる所存です。



揚げない茄子の煮びたし

材料 2～3人前

茄子…………… 3本
 きざみねぎ…………… 適量
 生姜…………… 少量
 鷹の爪(輪切り)…………… 少量
 サラダ油…………… 大さじ2

だし調味料

だし汁…………… 250cc(白だしを希釈)
 醤油…………… 大さじ3
 みりん…………… 大さじ2と1/3
 砂糖…………… 小さじ2

※だし汁と醤油、みりん、砂糖はあらかじめ計量カップへ混ぜておく。

1

茄子はへたを取り、縦半分に切ってから2～3ミリ間隔で浅く切り込みを入れ、更に縦半分に切り、水に浸けてアク抜きをする。

4

皮面が綺麗な紫色に焼けたら残りの二面を軽く焼く。



5

だし調味料を加え3～4分煮て茄子に火が通れば完成。



6

器に盛り、きざみネギやお好みで、おろし生姜、針生姜などを添える。



揚げない茄子の煮びたし

住職からの
まごころ
一品



ご住職が、心のこもった一品を紹介していただくコーナーです。皆様もぜひ。

(食前の食法)

「天の三光に身を温め、地の五穀に魂を養う。皆こ
 れ本仏の慈悲なり。南無妙法蓮華経。いただきます。」

(天の三光：太陽、月、星。地の五穀：米、麦、粟、豆、黍などの穀物。)

温かいうちに食べても美味しいですが、2～3時間以上味を染み込ませたり、冷蔵庫で冷やして食べても美味しいです。

だし汁の取り方は和風だしであれば概ね流用出来ると思います。私は手軽で万能な白だしを使用してみました。



吉田広心師

1984年12月26日生、千葉県市原市出身。立正大学仏教学部卒業。総本山妙満寺奉仕生修了後、品川天妙国寺山務職員の経験を経て、現在は本妙寺(市原市滝口)、妙照寺(市原市東国吉)住職を務める。



住職さんのメモ

炒める前に水気を切り、拭き取っておく



2

フライパンに油を引き包丁の腹で軽く潰した生姜と鷹の爪を入れて香りを出す。

3

一旦火を止め茄子の皮面を下にして並べ再び火を点け中火程度でよく焼く。



今さらきけない
仏教Q&A

Q 「回向」について教えてください。

A 私たちが普段使っている「回向」という言葉は、一般的に霊に向かい読経し、祈ることと理解されているようです。「回」「向」という二つの文字ですが、これは自分が仏さまに向かい、唱えたお経の功德を他へ「回して向ける」ことを意味します。本来お経はお釈迦さまがすべての人々に生きる指針として説かれた教えですから、「読経」、即ちお釈迦さまの教えを読み、学ぶのは、自分が悟る(迷いがなくなる)救われる(迷いがない)ための行為に他なりません。

しかし仏教では、自分だけが救われるよう励むことよりも、他者も救われるよう努力するほうが尊いと説いています。「回向」は読経等の修行を我が先祖、我が身内とはいえ、他者のために行うことによって自分と他者がともに救われようとする、仏教の最も基本的な行いなのです(ただし、我が先祖だけがかわいという思いでは、やはり仏教の精神から外れてしまいます)。(つづく)



「ケンポンクイズ」「仏教Q&A」「和顔愛語」応募要項

官製はがきまたは封書にて、住所・氏名・年齢・菩提寺名・『心の宝』への感想を記入の上、下記宛先までご応募ください(匿名で掲載希望の方は、その旨お書きください)。

〒700-0818 岡山市北区蕃山町 3-5 本行寺内『心の宝』編集部

〆切り 10月末日 (消印有効)

令和4年は立正大師諡号宣下100周年です。

学んで
 トクつむ
ケンポンクイズ

問題に答えて、ご応募ください。
 全問正解の方に抽選で記念品をお送りします。

③ 見返りを求めず
 他に施す修行を
 なんといいうか?

ヒントは
 P15に

② 日蓮大聖人は
 ○○菩薩の自覚を
 持たれました

ヒントは
 P13に

① 女性のお坊さん
 のことをなんといいうか?

ヒントは
 P2に

⑤ 唱えたお経の功德を
 他へ届けることを
 なんといいうか?

ヒントは
 P23に

④ 上総七里法華
 という○○上人

ヒントは
 P18に

22

宗門だより

宗務院

全国布教講習会

6月14日、全国布教講習会がオンラインにて開催され、特命布教師 川崎英真師(千葉県茂原市)・

遷化

本光院日道上人



千葉県東金市・円福寺第41世、本光寺歴世、円成寺歴世 飯澤道安師が令和4年6月9日、世寿64歳にて遷化されました。6月29日、円福寺において橋無我師(千葉県市原市・妙経寺住職)を導師に本葬の儀が厳修されました。

略歴
昭和34年、千葉県生まれ。平成3年、千葉県東金市・本光寺住職。同年、同県長生郡白子町・円成寺兼務。平成9年、同県東金市・円福寺住職。宗内においては、青少年錬成会主任、教区布教師、宗会議員、宗務主事、社会部長等の要職を歴任。宗門発展・寺門興隆に尽力された。

龍教寺)より「法号の選定文字、読み方について考

える」、妙塔学林教授 小松正学師(千葉県印旛郡・経胤寺)より「本多猊下の御生涯と立正大師諡号宣下の意義について」の講義が行われ、参加者からは

様々な質問・意見等がありました。

公開研究例会

6月20日、教学研究所主催(所長 窪田哲正師)の「公開研究例会」がオンラインにて開催され、湯原正純師(京都市・法光院)、

朝倉俊泰師(千葉市・本行寺)、大川円道師(京都市・寂光寺内)より研究発表があり、参加者からは活発な質問等がありました。また、研究発表後には、奈良大学文学部教授 河内将芳氏により「戦国仏教と京都」についての講演が行われました。

令和4年夏号 ケンポンクイズ 答え

- ① 経巻相承 (ぎょうがんそうじょう)
- ② 三つりんどうたちばな
- ③ 仏・法・僧
- ④ 青提女 (しょうだいによ)
- ⑤ 安珍清姫の鐘 (あんちんきよひめ)

当選者

- 宮本格 様 (茨城県土浦市)
- 乾栄子 様 (福井県勝山市)
- 高井清 様 (京都市)
- 板野広美様 (岡山市)
- 井上慶子様 (兵庫県姫路市)

本山だより

特別企画展

「立正大師諡号宣下100年と本多日生上人」

5月21日より、宝物展示室において特別企画展「立正大師諡号宣下100年と本多日生上人」を開催しています。

「立正大師」の諡号を大正天皇から賜るため門下や政財界に呼びかけ、諡号宣下を先導された元顕本法華宗管長・本多日生上人のご功績を伝えるパネルや、一般社団法人本多日生上人記念財団より拝借した本多上人ご着用の七条袈裟、講演の音声



が収録されたレコード、本山所蔵の揮毫などゆかりの品を展示しています。開催期間は12月末日まで。本山にご参詣の際は、ぜひ展示室へお運びください。

孟蘭盆施餓鬼会

8月6日、孟蘭盆施餓鬼会が厳修されました。急速に広がった新型コロナウイルス流行「第7波」により、山内職員やその家族、出席を予定されていた檀信徒の方々が感染したり濃厚接触者となったため、急遽参列を中止、山内職員のみで奉行しました。



法要では、施餓鬼供養とあわせて広島・長崎原爆犠牲者をはじめとする全戦没者の慰霊、震災・水災など害物故者の追悼と被災地の復旧・復興、新型コロナウイルス退散を祈念しました。

また、この「第7波」の影響を受けて8月2日〜10日まで、令和2年4月に「緊急事態宣言」が発令されたとき以来、拝観休止の措置をとりました。

※今年度のれんせい会は、新型コロナウイルス第7波を鑑み中止となりました。